

|           |    |                |     |            |    |     |            |    |       |
|-----------|----|----------------|-----|------------|----|-----|------------|----|-------|
| 教科        | 芸術 | 科目             | 書道Ⅰ | 開講学期       | 通年 | 単位数 | 2          | 試験 | 前期・後期 |
| タイプ       | Ⅱ  | レポート数          | 6   | スクーリング必要時数 |    | 8   | スクーリング実施時数 |    | 14    |
| 教科書(発行者)  |    | 書道Ⅰ(東京書籍)      |     |            |    |     |            |    |       |
| 補助教材(発行者) |    | 書道Ⅰ 学習書(NHK出版) |     |            |    |     |            |    |       |

|       |   |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目の目標 | 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。    |  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 1 知識及び技能  |  |  | 2 思考、判断、表現等  |  |  | 3 学びに向かう力、人間性等   |  |  |
|       | 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 |  |  | 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。 |  |  | 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |  |  |

| 評価の観点<br>及び<br>その趣旨 | 1 知識・技能  | 2 思考・判断・表現  | 3 主体的に学習に取り組む態度                |
|---------------------|--|---|--------------------------------|
|                     | 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。<br>書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 | 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。 | 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 |

|       |   |
|-------|---|
| 単位認定  | 全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。 |
| 評価の方法 | 評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。                      |

| 学期 | レポート | 学習内容            | スクーリング     | 試験 |
|----|------|-----------------|------------|----|
| 前期 | 第1回  | 芸術としての書 九成宮醴泉銘  | 第1・2回      | 前期 |
|    | 第2回  | 孔子廟堂碑           | 第3・4回      |    |
|    | 第3回  | 雁塔聖教序 楷書のまとめ    | 第5・6・7回    |    |
| 後期 | 第4回  | 蘭亭序 生活の中の書(1)   | 第8・9回      | 後期 |
|    | 第5回  | 曹全碑 生活の中の書(2)   | 第10・11回    |    |
|    | 第6回  | 仮名(単体・連綿・散らし書き) | 第12・13・14回 |    |